

大山旧病院跡地払下げについて



い い だ よ う し
飯田 洋司
 議 員

質問 大山旧病院跡地の払下げ契約の進捗状況と、今後の計画は。

から不動産鑑定結果が知らされるので、7月の議会全員協議会で内容を説明したい。

また払下げ後の利用計画は、地方創生推進交付金を活用し、ミホー・アフター事業として、東京医科歯科大学霞ヶ浦分院跡地を活用した交流拠点の基本構想の策定を考えている。

質問 国から本村への水防拠点と大山スロープの管理移譲時期と、委譲後の管理運営計画は。

答弁 (経済建設部長) 水防拠点の一部は平成25年6月から占用している。管理条件は除草を含む日常的維持管理、安全管理、トイレの維持管理。巡回は適宜行い、除草は年5回から8回、トイレ清掃は週1回行っている。

答弁 (総務部長) 本年7月22日までに、水戸財務事務所



の、具体的な対応や管理運営方法については決定していない。今後は、霞ヶ浦河川事務所、稲敷警察署、漁業関係者、ウォータースポーツ関係者、地元住民の方々と意見交換を行い、管理移譲、管理の方法等を慎重に検討したい。

地域交流館サイクリング拠点化について

質問 仮称美浦村地域交流館でのサイクリング拠点の運営管理など考えているか。



答弁 (経済建設部長) 茨城県が主体となり、サイクリングコースや休憩所の整備を、関係する14市町村が一体となって進めている。本村の地域交流館も自転車サポートステーションとしての登録を考えていく。

空き家対策について

質問 空き家バンクへ早急に登録できるよう対策を質問したが、その後の進捗は。

答弁 (経済建設部長) 空き家対策を総合的かつ計画的に実施するため、庁内関係部署で組織する「空き家対策調整会議」を立ち上げ、空き家の対策案や利活用についてなどを検討し、本年9月に「美浦村空き家等対策協議会」に諮問する予定。来年3月開催予定の協議会を経て「美浦村空き家等対策計画」を策定する。